拠点

拠点４　板橋　（板橋区立赤塚福祉園）

１）事業概況（運営方針・目標の実施状況）

今年度は、生活介護事業５７名（定員６０名）、就労継続支援Ｂ型事業４０名（定員４０名）、計９７名でスタートした。

福祉園全体では、責任者クラスの職員による運営会を組織し、福祉園全体として、一体的な運営に努めた。指定管理者独自事業としては、引き続き、延長サービスを実施した他、従来からの土曜日開園に変えて、福祉園祭りを休日開園扱いとした。なお、休日開園を予定していた地域総合防災訓練については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。また、デイセンターきららの自主製作品とワークセンターはばたきのラスク等の統一ブランド「ＡＴＢ」については、職員とデザイナー協働のもと、ロゴマークのデザインを一新、ラスクについても包装用の袋や箱などをリニューアルした。その結果、板橋区内外のイベント等への積極的な参加を通じて、ブランド力の向上及び販売活動の強化を図ることができたが、年度末にかけて、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、販売会が中止となっている。事故防止については、「ヒヤリハット」の活用、法人委員会との連携により、事故再発の要因の検討・分析が進んだ。中でも部署毎の責任体制が再発防止に大きく影響することが明らかになり、責任者研修や責任体制の見直しの必要性が確認された。権利擁護については、法人委員会との連携により「行動制限」についてのガイドライン策定の検討に入った。今年度は「行動制限」に対する職員個々の問題意識や理解度を探った。その結果、身体・知的・発達の３つの障害に対応する独自のガイドラインが必要であることが明らかになった。人材育成・定着については、新たに法人が策定したキャリアパス制度に基づいて、職員の育成を開始した。育成の目標や内容に関してはスーパービジョンとして行ってきたものと違いはないものの、システムやツールが明確になったことで「必須業務としての育成」という捉え方が明確になった。同時に育成者の育成能力や技能の不足が明確になり、拠点内だけでなく法人全体で「育成者の育成・研修」に取り組む必要性が明らかになった。

生活介護事業においては、日々の連絡帳とサービス提供記録を合わせた様式を用いることで、家庭との相互理解を深めることができた。あわせて、区立福祉園平準化基準の範囲内ではあるが、「在園時間の延長」を行い、従来からの「延長サービス」とともに家庭支援の一助となった。また、介助用リフトやアシストスーツなど介助用備品を積極的に購入することで、利用者の介助への安心感を高めるとともに、職員の心身的な負担の減少や福祉業界全体にわたる人手不足を補う対応を行った。就労継続支援Ｂ型事業においては、作業種が多岐にわたったことで、利用者の選択の幅が増え、利用者の強みを生かした作業展開ができた。ただし、年度末にかけて、新型コロナウイルス感染拡大による感染防止対策で、イベントやキャンペーン等の中止、自粛が相次ぎ、ラスク販売や企業からの受注作業依頼が減り、工賃も約半分に激減するという深刻な状況がみられている。緊急保護事業については、近年、介護者の高齢化に伴う急な入院、障害児を中心とした家庭内の問題等により、長期利用を要する利用が増加しており、短期入所事業利用までのつなぎとしての利用を含め、板橋区との調整を要するケースが増えている。緊急事由での利用を優先させるため、板橋区との協議により、休養事由による利用の見直しを行った。

板橋区との関係については、相談支援事業の円滑な実施に向けて、引き続き福祉事務所、相談支援事業所等との連携を進めた。また、施設整備として、板橋区により、１階テラスの改修工事が実施された。そして、前年度に実施された屋上防水工事については、漏水が継続しているため、引き続き対応を協議していく。防災に関しては、板橋区と合同で「二次避難所（福祉避難所）開設訓練」を実施し、開設までの流れの確認、課題などを確認することができた。また、区立福祉園の民営化の検討については、検討の進捗状況及び今後の予定について、利用者・家族向けに説明会が開催された。２０２０年度には板橋区としての方針が示される予定である。

地域との関係においては、地域のオープンスペース「赤ニコ広場」を活用した展示販売活動や「赤塚ジモパ」をはじめとした地域行事への積極的な参加を通じて、より密接な交流を進め

ることができたが、開設以来参加してきた「地域総合防災訓練」については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となった。また、福祉園祭りの開催にあたっては、篠ケ谷戸町会に加え、地域のＮＰＯ法人等の協力を得ることができた。さらに、地域包括ケアシステム「板橋区版ＡＩＰ」の支えあい会議下赤塚に会議体の構成員として参画するとともに、板橋区社会福祉法人施設等連絡会の活動については、地域公益活動としてのフードドライブへの協力など、積極的に参加した。

２）月間・年間行事等実施状況

別紙のとおり。

３）職員体制

組織図を添付

４）職員研修

①事業所内研修

期日	研修名	開催場所	参加職員
毎月	動作法研修（牛山卓也講師）	園内	きらら職員
毎月	動作法研修（藤岡孝志講師）	園内	きらら職員
４月５日	バスリフト操作講習	園内	きらら職員
１１月２１日	感染症研修（板倉宏尚嘱託医）	園内	全職員
１１月２５日	個人情報保護研修	園内	全職員
１月１５日	動作法講義（牛山卓也講師）	園内	全職員
３月３１日	個人情報保護研修	園内	全職員

②法人内研修

期日	研修名	開催場所	参加職員
６月２２日	新任職員フォローアップ研修	嬉泉福祉交流センター袖ケ浦	2名
8月17日～19日	夏季療育合宿	嬉泉福祉交流センター袖ケ浦	3名
12月21日～23日	冬季療育合宿	嬉泉福祉交流センター袖ケ浦	3名
２月８日	全体職員研修	浦安ブライトンホテル	37名

③外部研修

期日	研修名	開催場所	参加職員
4 月 6 日	世界自閉症啓発ﾃﾞｰｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ	灘尾ﾎｰﾙ	1 名
5 月 15 日	臥位姿勢研修	お茶の水ｹｱｻｰﾋﾞｽ学院	1 名
5 月 23 日	板橋区栄養管理講習会	板橋区立文化会館	2 名
6 月 14 日	板橋区環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ研修会	板橋区役所	1 名
6 月 17 日	東京施保連･学習会	研究者英語ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ	1 名
6 月 18 日	職員交換研修	ｹｱﾀｳﾝ成増	1 名
6 月 25 日	食品表示制度説明会	板橋区立ｸﾞﾘｰﾝﾎｰﾙ	3 名
6 月 28 日	東社協強度行動障害支援者研修	左官工会館	1 名
7 月 17 日	車椅子ｼｰﾃｨﾝｸﾞ研修	お茶の水ｹｱｻｰﾋﾞｽ学院	1 名
7 月 22･23 日	全国知的障害関係施設長等会議	ﾊﾟｼﾌｨｺ横浜	1 名
8 月 1 日	上級救命講習	光が丘消防出張所	1 名
8 月 5 日	職員の教育効果を高めるための基礎研修	お茶の水ｹｱｻｰﾋﾞｽ学院	1 名
8 月 6 日	職員交換研修	ｹｱﾀｳﾝ成増	1 名
8 月 7 日	東社協･session!ｾﾐﾅｰ	飯田橋升本ﾋﾞﾙ	2 名

8 月 28 日	ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ養成講座	天王洲郵政ﾋﾞﾙ	1 名
8 月 29･30 日	全国ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ等研修会	東京ﾍﾞｲ幕張	1 名
9 月 10 日	食品適正表示推進者育成講習会	練馬文化ｾﾝﾀｰ	1 名
9 月 10 日	板橋区事業用大規模建築物廃棄物管理責任者講習会	板橋清掃事務所	1 名
9 月 14 日	東社協･知的部会研修会	飯田橋ｾﾝﾄﾗﾙﾌﾟﾗｻﾞ	1 名
9 月 24 日	考課者ﾄﾚｰﾅｰ養成講座	日本経営東京本社	1 名
9 月 27 日	東社協･知的部会学習会施設見学会	滝乃川学園	1 名
10 月 8 日	東社協･知的部会学習会施設見学会	浅草ほうらい	1 名
10 月 9･10 日	東社協･ｷｬﾘｱﾊﾟｽ対応障害研修	東京都社会福祉医療ｾﾝﾀｰ	1 名
10 月 23 日	東社協･session!ｹｰｽｽﾀﾃﾞｨﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲｾﾐﾅｰ	飯田橋升本ﾋﾞﾙ	2 名
10 月 30 日	入職 3 年目目標再設定講座	日本経営東京本社	1 名
11 月 2 日	都通研研修会	国立ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ記念青少年総合ｾﾝﾀｰ	2 名
11 月 7･8 日	全日本自閉症支援者協会研究大会	川越ﾌﾟﾘﾝｽﾎﾃﾙ	7 名
11 月 11 日	東社協･人事管理研修	飯田橋ﾚｲﾝﾎﾞｰﾋﾞﾙ	2 名
11 月 28 日	板橋区保健所食品衛生講習会	板橋区立ｸﾞﾘｰﾝﾎｰﾙ	2 名
11 月 28･29 日	東社協･中堅職員重点ﾃｰﾏ強化研修	日本社会事業大学文京ｷｬﾝﾊﾟｽ	1 名
11 月 29 日	ｳｪﾙｸ･評価制度構築ｾﾐﾅｰ	九段下ﾅﾚｯｼﾞｿｻｴﾃｨ	1 名
12 月 9 日	東京都発達障害支援協会研修会	三多摩労働会館	1 名
12 月 10 日	呼吸法研修会	北療育医療ｾﾝﾀｰ	1 名
12 月 20 日	排泄支援基礎研修	お茶の水ｹｱｻｰﾋﾞｽ学院	1 名
1 月 14･15 日	東社協･施設会計実務研修	飯田橋ﾚｲﾝﾎﾞｰﾋﾞﾙ	1 名
1 月 17 日	強度行動障害支援事例検討会ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ研修	京都ﾃﾚｻ	1 名
1 月 22･23 日	東社協･会計決算実務研修	飯田橋ｾﾝﾄﾗﾙﾌﾟﾗｻﾞ	1 名
1 月 24 日	区立福祉園看護師会	小茂根福祉園	1 名
1 月 29 日	都通研研修会	国立ｵﾘﾝﾋﾟｯｸｾﾝﾀｰ	1 名
2 月 4 日	日本ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ・中期経営計画策定と計画達成のﾎﾟｲﾝﾄｾﾐﾅｰ	日本企業会館	1 名
2 月 5 日	東社協･社福経営者協議会ｾﾐﾅｰ	あいおいﾆｯｾｲ同和損保新宿ﾋﾞﾙ	1 名
2 月 7 日	東社協･会計決算実務研修	飯田橋ﾚｲﾝﾎﾞｰﾋﾞﾙ	1 名
2 月 13 日	給与制度再構築ｾﾐﾅｰ	松戸商工会議所会館	1 名
2 月 14 日	栄養管理講習会	板橋区立文化会館	1 名

5）実習生等の受入

形態	受入先	人数
業務研修	人事院公務員研修所	3名
学生実習	東京福祉保育専門学校	2名
	東京福祉大学	2名
	星美学園短期大学	1名
	こども教育宝仙大学	1名
	東京都市大学	1名
	大妻女子大学	2名
	東洋大学	1名
	十文字学園女子大学	1名
	日本社会事業大学	3名
	大正大学	1名

	目白大学	１名
	大東文化大学	１名
教員免許介護等体験	芝浦工業大学	２名
	大正大学	１名
	桐朋学園芸術短期大学	１名
	昭和女子大学	１名
職場体験	赤塚第二中学校	２名
	赤塚第三中学校	３名
	高島第一中学校	３名
	志村第四中学校	２名
法人拠点間研修	おおらか学園	１名
ボランティア	個人	９名
	福祉園祭り（一般）	９５名
	福祉園祭り（赤塚第三中学校・吹奏楽部）	―

６）施設整備（建物改修、設備・備品等購入等）

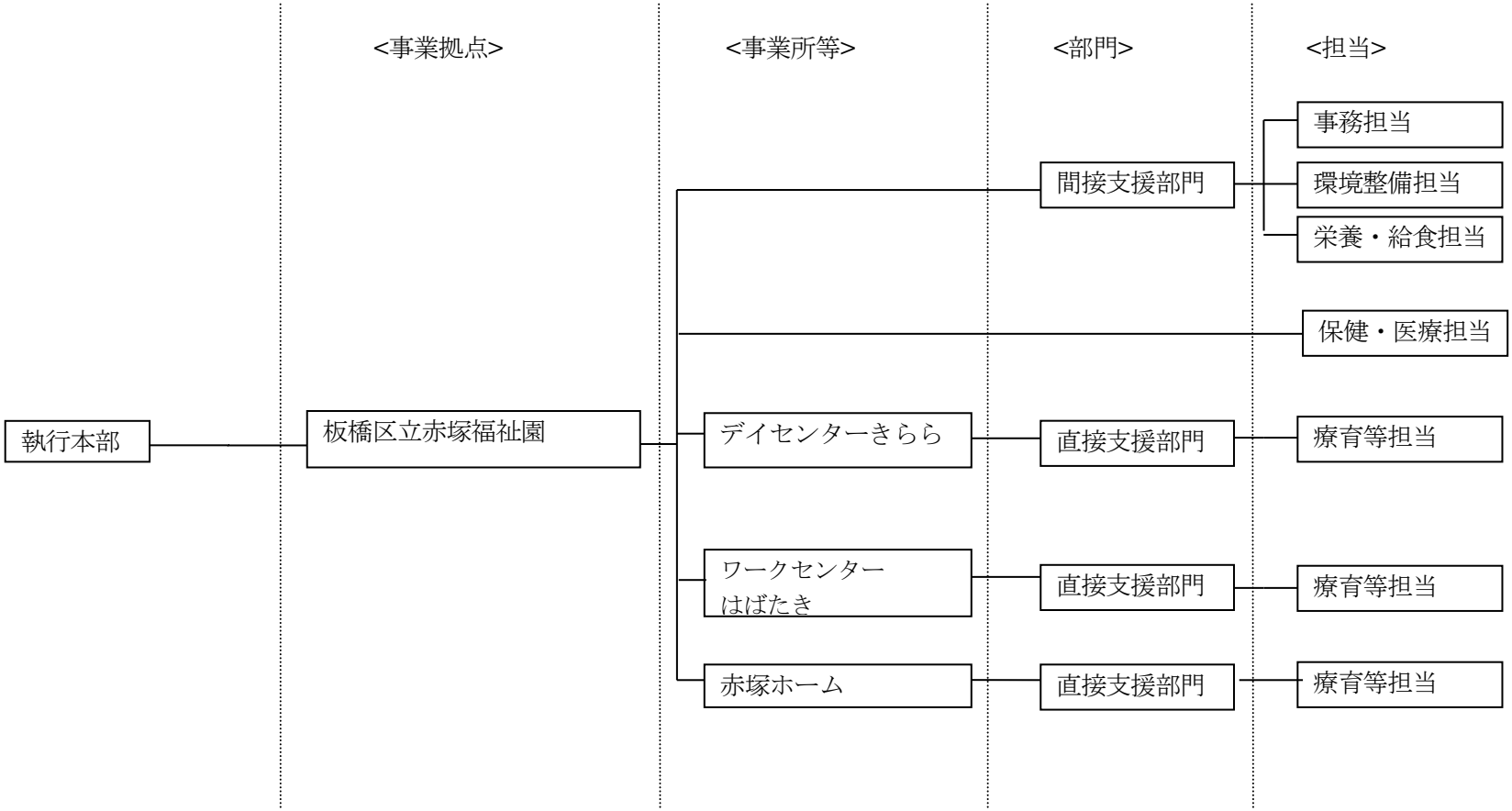
① テラス改修工事（板橋区により実施）
② 非常放送設備更新工事
③ 防犯カメラシステム更新工事
④ 機械警備システム更新工事
⑤ 非常用発電機改修工事
⑥ 利用者移乗用リフト・介助用寝台・パワースーツ（介助アシストスーツ）購入

７）健康診断等

① 定期健康診断
１１月２５日　野田市小張病院出張検診　職員２０名受診
検査項目：血圧、血液検査、尿検査、心電図、便潜血検査、胸部レントゲン
② 生活習慣病予防検診
各自で受診　職員３６名受診
検査項目：血圧、血液検査、尿検査、心電図、便潜血検査、胸部レントゲン
胃部レントゲン、聴力検査
③ 夜勤対応健診（緊急保護事業のみ）
１０月９日および１６日　楠医院（産業医・嘱託医）にて実施
赤塚ホーム職員１０名受診
検査項目：診察、血圧測定、視力、聴力、身体計測、尿検査
④ ストレスチェック
１２月に実施　職員５８名　同友会に委託

別　紙(事業報告書関係)

赤 塚 福 祉 園　年 間 行 事 等 実 施 状 況　(２０１９年度)

項目／月	行事				職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
４月	5	全体家族連絡会			26	職員会議	 24	メール送信訓練(各月) 防災教育	18	衛生委員会
５月	 	グループ家族会 グループ家族会			31	職員会議	14	避難訓練	23	衛生委員会
６月	6	全体家族連絡会	3-7 20，21	活動公開 はばたき宿泊旅行	28	職員会議	14	避難訓練・消火訓練	13	衛生委員会
７月	13	赤塚福祉園祭り			5，26	職員会議	30	避難訓練・消火訓練	18	衛生委員会
８月					23	職員会議	2	応急救護訓練	22	衛生委員会
９月	28	区スポーツ大会	5，6 12，13 19，20	きらら宿泊旅行 きらら宿泊旅行 きらら宿泊旅行	27	職員会議	2	安否確認訓練	26	衛生委員会
10月			3，4 17，18	きらら宿泊旅行 きらら宿泊旅行	31	職員会議	28	避難訓練・消火訓練	 24	 衛生委員会
11月					21 25	医療研修（受動喫煙） 職員会議 （個人情報保護研修）			 21 25	利用者歯科検診 衛生委員会 利用者健康診断
12月	4	区主催・全体家族連絡会			27	職員会議			19	衛生委員会
１月					 27	動作法研修 職員会議	23	福祉避難所開設訓練	23	衛生委員会
２月			3-7	活動公開	28	職員会議			20	衛生委員会
３月		全体家族連絡会（中止）			31	職員会議 （個人情報保護研修）		地域総合防災訓練・夜間想定訓練（中止） 引継訓練（中止）	12	衛生委員会

組織図(板橋区立赤塚福祉園)